

老健施設における森林嗅覚成分ヒノキ精油吸入による職場ストレス管理
 対策の有効性に関する研究について

1. 課題名 老健施設における森林嗅覚成分ヒノキ精油吸入による職場ストレス管理対策の有効性に関する研究について		
2. 研究者等氏名	所属	職名
李 卿	三郷ケアセンター、日本医科大学	医師、臨床教授
落合 匠	三郷ケアセンター	医師、施設長
青柳陽一郎	日本医科大学大学院医学研究科	医師、教授
3. 研究協力者など指名	所属	職名
新館: 松澤(介護) 須賀(看護) 石脇(介護)	三郷 CC	看護師・介護士
2階: 渋谷(介護) 浅岡(看護) 長谷川(介護) 新野(看護)	三郷 CC	看護師・介護士
3階: 茂木(介護) 増田(介護) 伊達(ケアマネ) 千葉(看護)	三郷 CC	看護師・介護士
4階: 泉(介護) 篠山(介護) 吉田静(介護) 富澤(看護)	三郷 CC	看護師・介護士
4. 研究等の概要		
<p>申請者の先行研究では森林環境の嗅覚成分の吸入はストレスホルモン減少及びリラックス効果をもたらすことが明らかになった。以上の研究結果から我々は森林環境の嗅覚成分の吸入による職場のストレス管理対策に活用することに着目した。アロマテラピーによる疲労解消に関する研究はあるが、アロマの連続的吸入による職場のストレス管理対策に活用する研究は見当たらない。ヒノキ精油は香りによる刺激作用とリラックス作用の両方を持ち合わせて職場のストレス管理対策に影響を及ぼすと考えられる。</p> <p>そこで、本研究は三郷ケアセンターの入所者に対してヒノキ精油の吸入による職場のストレス管理対策の有効性を検証することにする。</p> <p>研究方法</p> <p>毎晩就寝時間内にアロマ加湿器にて精油を蒸発して居室内空気中に均一拡散する方法を用いる。</p> <p>【評価方法】</p> <p>簡便な評価法が現実的で望ましいと思われる。そこで、以下の評価法を用いる。</p> <p>① POMS 調査用紙によるアンケート調査</p> <p>② 疲労痔核症状の評価</p> <p>③ 睡眠に関するアンケート調査</p> <p>④ 血圧と脈拍</p>		

研究の期間（加湿器使用期間）

研究予定期間：2020年 12月1日～2023年 3月31日（2年4月間）

5. 研究等の対象及び実施場所

参加希望の職員全員に参加してもらう。

実施場所：三郷ケアセンター

6. 研究等における医学倫理的配置について

(1) 研究等の対象とする個人の人権の擁護

本研究では、全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取る。実験結果は、他の目的に使わない。対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。

(2) 被験者に理解を求め同意を得る方法

インフォームド・コンセント（IC）を受ける手続き

全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取り、被験者の同意を取得する。被験者は任意で参加できる。

代諾者等からICを受ける場合には、その手続き

本研究では、全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取る予定であるが、認知症のために被験者本人から取れない場合、代諾者として家族に文書でインフォームド・コンセントの手続きを取り、被験者の家族の同意を取得する。

本研究への参加は、自由意思によることで、参加への同意撤回も自由意思で決められる。

(3) 研究等によって生ずる個人への不利益と利益または貢献度の予測

この方法では精油の吸入量は極めて少なく被験者には安全な量でリラックス効果があっても副作用はない。研究による個人への不利益並びに危険性は一切生じない。

(4) その他

個人情報の取り扱い

本研究では、実験結果は、他の目的に使わない。対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。また結果は被験者にフィードバックする。同意撤回後のデータについては使用しない。

研究機関の長への報告内容及び方法

毎年年度末に三郷ケアセンター施設長に研究概要を報告する。中止・終了際は研究中止・終了報告を提出する。

当科(部)での本研究の実施について承認していること、実施に際して必要な措置を講ずることを証します。

年 月 日 部署責任者： 落合 匠 印